

# 経腸栄養法(栄養剤の注入)

## 1 栄養剤注入の準備

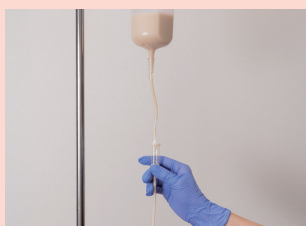
擦式アルコール手指消毒薬で手指消毒後、手袋を装着する

## 2 イリゲーターをスタンドに吊るす

## 3 イリゲーターのチューブがクランプされていることを確認し、指示された栄養剤を入れる



## 4 栄養剤を滴下筒の半分程度まで満たし、イリゲーターのチューブ先端まで栄養剤を流してチューブ内の空気を抜く



## 1 栄養剤を注入する

イリゲーターのチューブ先端を経鼻経管栄養チューブに接続する



## 2 クレンメを少しずつ開放しながら、指示された注入速度になるように調節する



## 3 消化器症状(悪心・嘔吐、腹部膨満など)があればすぐに知らせるように説明し、ナースコールを手元に置く

## 4 注入中の状態を観察する ・全身状態：バイタルサインの変化、気分不快、消化器症状(悪心・嘔吐、胃痛、腹痛、腹部膨満感、下痢)、呼吸状態の変化(咳嗽、喘鳴)などがないか

## 5 滴下不良時は、栄養チューブの閉塞や屈曲、圧迫などが考えられるため、チューブを確認する

## 1 注入を終了する

栄養剤の注入が終了したら、クレンメを閉じてイリゲーターの接続を外す

## 2 カテーテルチップシリンジで白湯を注入し、栄養チューブ内の栄養剤を流し込む



## 3 栄養チューブの接続部のキャップを閉める



## 4 患者の妨げにならないよう栄養チューブをまとめ、抜去しないよう服などに固定し、患者に終了したことを説明する

## 5 気分不快や消化器症状があればナースコールするように説明し患者の状態の観察を行う

## 6 注入終了後 30 分～1 時間は上半身を挙上した体位を保つ